

令和2年度東北がんネットワーク化学療法専門委員会

事業計画 進捗状況

1) 委員会の開催

令和2年度化学療法専門委員会は年度内に開催する方向であるが新型コロナウイルス感染症対策を最優先としWEB会議等の形式を検討する。

1について

WEB開催を目指したが、委員間の日程調整がかなわず今年度は不開催とした。

2) 標準プロトコルの活性化・Tumor Boardの発展的展開

昨年度、東北臨床腫瘍研究会内に、医師・薬剤師・看護師で構成されるワーキンググループを発足させるため、その人選等を進め発足を目指していたが2月からの新型コロナウイルス感染症の拡がりのため動きを一旦止めなければならない状況になった。ワーキンググループにおいては掲載中のプロトコルのチェック、新規療法の採用検討を行い随時現状に即して最新のレジメンを取り込んでいけるようにOn Timeでの対応を可能にしていく方策を探る。Tumor Boardについては、これまでの症例検討の場としての機能から今後大きな流れとなるがんゲノム医療に特化していき、遺伝子パネル検査適応症例相談メール会議システム等への発展的展開を目指す。これに伴い、日進月歩の医療環境に対応したプロトコル等の在り方についての大枠と指針を検討するためのコアメンバーによる会議の開催（WEBによる）を図る。

2について

事務局内部において、現状のプロトコルの整理を行い会議開催の下準備を進めた。

3) 東北大学がんゲノム医療中核拠点病院機能強化事業への協賛

昨年度宮城県においては東北大学病院、宮城県医師会とともにがんゲノム医療従事者養成研修事業をスタートさせた。また、東北大学病院においては、表記の事業として同様の研修会を東北地方の拠点病院等がんゲノム医療に携わる医療従事者に向け展開していくことになっている。化学療法専門委員会においてもがんゲノム医療への取り組みはファーストプライオリティと位置づけるものであり、同事業への協賛・協力を図り、東北地方全体に広がりを図っていく。

3について

別紙報告書のとおり、東北各県をはじめ広く全国からも参加者があり関心の高さが証明された。

4) 令和元年度化学療法専門委員会事業費計画 (支出先 東北臨床腫瘍研究会)

- ・症例検討システム/プロトコール申請審査システム運営管理費

@ 1 ヶ月 18,360 円×12 ヶ月=220,320 円

- ・専門委員会・T-COREカレッジ開催等経費 100,000 円

- ・がんゲノム医療従事者養成研修会協賛金 300,000 円

合計 620,320 円

4について

- ・症例検討システム/プロトコール申請審査システム運営管理費

@ 1 ヶ月 18,700 円×12 ヶ月=224,400 円

- ・T-COREカレッジ開催等経費 50,000 円

- ・がんゲノム医療従事者養成研修会協賛金 350,000 円

合計 624,400 円

※精算済

東北大学病院がんゲノム医療中核拠点病院機能強化事業

がんゲノム医療従事者養成 WEB 研修会 報告書

【事業について】

東北大学病院は、全国 12 病院が指定されているがんゲノム医療中核拠点病院である。中核拠点病院はがんゲノム医療拠点病院。連携病院と協力してがんゲノム医療の推進を図るものであるが、その重要な役割の一つが人材育成である。東北大学病院では中核拠点機能強化事業として東北地方の医療従事者に向けた研修事業を行うことし、宮城県が令和元年度から先行的に実施しているがんゲノム医療従事者連携養成事業と連携し進めていくこととなった。

事業の運営管理については、宮城県の事業を運営している N P O 法人東北臨床腫瘍研究会内に事務局を置き事業の調整、管理運営を行うこととなった。

【がんゲノム医療従事者養成研修会について】

研修会の対象者は、医師、看護師、薬剤師、検査技師等医療従事者。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、あらゆる社会活動に制限がかかる大変厳しい状況下となった。そのため研修会の開催は会場開催を諦め専用ホームページを立ち上げ参加申込者にアクセスさせる WEB 研修会として開催することとなった。

《東北大学病院がんゲノム医療中核拠点病院機能強化事業

がんゲノム医療従事者養成 WEB 研修会》

- ・公開期間：令和 2 年 11 月 16 日から令和 3 年 1 月 31 日
- ・HP 概要 別紙参照

【参加者等資料】

	医師	看護師	薬剤師	臨床検査技師	CRC	MSW	遺伝カウンセラー	事務職	助産師	歯科医師・衛生士	学生
2019年ゲノム研修会 (総参加施設47・総参加人数264名)	64	91	42	22	5	7	6	18	5	2	2
2020年ゲノム研修会宮城版 (総参加施設43・総参加人数153名)	41	41	20	26	12	1	1	9	0	2	0
2020年ゲノム研修会東北版 (総参加施設74・総参加人数349名)	91	91	46	61	31	7	5	10	1	5	1
2020年ゲノム研修会宮城版医師限定版 (総参加施設31・総参加人数69名)	69										

※2019年は宮城県内の4会場で現地開催。2020年は全てWEBによる開催で、宮城は宮城県内の医療施設、東北版は宮城以外の5県と新潟県の医療施設を対象にして参加者募集を行ったものであるが、WEB開催ということで、全国からの参加申し込みがあった。医師限定版も同様である。

参加者を県別にみると、青森県106名、秋田県19名、岩手県26名、山形県48名、宮城県4名、福島県33名、新潟県58名、埼玉県27名、其他都道府県28名。

主な施設別では青森労災病院（青森県）46名、弘前大学病院（青森県）26名、さいたま赤十字病院（埼玉県）27名、山形大学病院（山形県）19名、福島県立医科大学附属病院（福島県）10名、新潟大学附属病院（新潟県）18名、新潟市民病院（新潟県）14名など。

以上
運営事務局
NPO法人東北臨床腫瘍研究会